

令和元年度自己点検・評価報告書

岩手公務員・医療・ビジネス専門学校

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

1-2 学校の特色はなにか 評価 5
(略) 今年度初めて、公務員・医療系の両コースから卒業生を輩出した。幅広い進路への対応、専門カリキュラムとスケールメリットを生かした共通カリキュラムによる深い学びが実現した。

基準2 学校運営

2-6 運営組織は、機能的に整備されているか 評価 5
運営組織は、「寄附行為」及び「職制及び業務分掌規則」「校務分掌」等に明確に定められ、機能的に整備されており、現在のところ大きな問題は生じていない。運営に関わる業務の効率化に向け、見直すべき点があった場合には、修正を図っていききたい。

基準3 教育活動

3-11 授業評価の実施・評価体制はあるか 評価 5
教員間において互いの授業を見学・評価することで、教育力向上を図っている。また、生徒アンケートを実施し、生徒からの授業評価を真摯に受け止め、次年度以降の授業へ反映させるよう努めている。

基準4 教育成果

4-18 就職率の向上が図られているか 評価 5
教育課程と同様、生活・進路指導に関わる教育内容も年々充実させている。就職率向上に向けての取組みを強化し、成果も充分に見えてきており、個人面談や保護者との三者面談などを通して、1人ひとりの希望に沿った就職指導を実施した結果、就職率100%を達成した。今後もこれまで以上に、就職指導の強化を図っていききたい。

基準5 生徒支援

5-24 生徒の経済的側面に関する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか . . . 評価 4
本学独自の奨学金を制定するなど生徒の経済的支援に努めているが、経済的に支援を要する生徒の増加が予想される。また、令和2年度生より適用となる「高等教育修学支援制度」の対象校として手続きを進め、認定された。今後はさらに厳しい状況に陥ると思料されるため、公的奨学金の利用はもとより、生徒個々の状況に対応ができるよう、奨学金制度の見直し、特待制度の新設等を幅広い視野で検討していききたい。

基準6 教育環境

6-30 施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか 評価 5
施設・設備については、十分に整備されている。図書室やトレーニングスペース等、生徒本人が目的を持って安全に活用できる体制を整えている。

基準7 生徒募集と受入

7-33 生徒募集活動は、適正に行われているか 評価 4
(略) 多数の競合校、高卒求人数の増加等々の影響により、年々入学者の確保が厳しくなっているが、学生部と教職員全員の連携を深め、真摯な募集活動を展開していききたい。外部セミナー並びにオープンキャンパスの充実、高校訪問やSNSの活用などあらゆる面の強化が必要となっている。特にホームページやSNSは、非常に大きな情報取得手段であることを踏まえ、タイムリーで正確な情報の提供を心掛けているが、更新の時期や頻度の点において十分とはいえない。今後は更に、担当・時期・内容を明確にし、有益であり募集結果に繋がる情報を享受できるよう、仕組みを充実化させる。引き続き、地域貢献や教育力の向上と併せて学校の特色と魅力をPRし、適正な生徒募集を行っていききたい。

基準8 財務

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 評価 2
「少子化」「補助金の減少」等、教育をとりまく社会情勢は、さらに厳しく私学経営を圧迫している。私学のみならず、わが国の教育界は、従来の価値観のみでは対応しきれない時代が到来しており、先行き不透明な中で、中長期計画は策定しにくい状況にある。
このような状況下において、学園の使命を果たしていくためには、社会における価値観の変化やニーズの多様化に対応する施策を着実にそして敏速に推進していくことが必要不可欠であり、学園の英知を結集して経営安定化への基盤を築いていききたい。

基準9 法令等の遵守

9-41 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 評価 5
個人情報に関しては、生徒ひとり一人の尊厳を重視し、書面にて保護を誓約しており、厳重にかつ慎重に取り扱うよう、教職員全員に周知徹底を図っている。「個人情報の保護に関する規定」も整備されており、重要書類の管理は金庫で行い、書類の廃棄はシュレッダーを活用するなど注意を払っている。

基準10 社会貢献

10-46 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか 評価 5
生徒のボランティア活動は、人間教育、専門教育の一環として捉えており積極的に推進し

ている。開校以来、希望生徒が各種のボランティア活動に参加し、地域社会に貢献している。